



## 平成26年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年10月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社キャンドウ  
 コード番号 2698 URL <http://www.cando-web.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 城戸 一弥  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 古山 利之 TEL 03 (5331) 5124  
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有・無  
 四半期決算説明会開催の有無： 有・無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年11月期第3四半期の連結業績（平成25年12月1日～平成26年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年11月期第3四半期	47,750	1.9	1,421	13.4	1,546	8.4	605	3.6
25年11月期第3四半期	46,859	△0.7	1,254	△34.1	1,426	△29.0	584	△30.7

(注) 包括利益 26年11月期第3四半期 603百万円 (6.3%) 25年11月期第3四半期 567百万円 (△32.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年11月期第3四半期	37.37	37.02
25年11月期第3四半期	36.58	36.06

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年11月期第3四半期	27,393	10,316	37.7
25年11月期	24,927	10,005	39.9

(参考) 自己資本 26年11月期第3四半期 10,316百万円 25年11月期 9,956百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年11月期	—	750.00	—	7.50	—
26年11月期	—	7.50	—		
26年11月期(予想)				7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有・無

当社は、平成25年6月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。平成25年11月期の中間配当については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

### 3. 平成26年11月期の連結業績予想（平成25年12月1日～平成26年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,741	1.6	1,796	21.0	1,951	14.8	735	20.0	45.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有・無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有・無  
 新規 ー社 除外 ー社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有・無

(注) 詳細は、添付資料P. 2「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有・無

② ①以外の会計方針の変更： 有・無

③ 会計上の見積りの変更： 有・無

④ 修正再表示： 有・無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年11月期3Q	16,770,200株	25年11月期	16,770,200株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

26年11月期3Q	542,000株	25年11月期	766,400株
-----------	----------	---------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年11月期3Q	16,205,745株	25年11月期3Q	15,983,000株
-----------	-------------	-----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	2
4. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が続いており、消費税引上げに伴う駆け込み需要の反動も和らぎつつあります。

小売業界におきましては、個人消費が一部に弱さが残るものの持ち直しの動きがみられますが、消費税増税の駆け込み需要の反動の長期化懸念や円安の進行、電気料金などの値上げによるコスト上昇、海外景気の下振れリスクなど、楽観できない状況が続いております。

このような経営環境の中、当社グループは前期より『第二の創業』を掲げて、企業理念を再定義し、ブランドロゴ、ブランドスローガンを定め、当社の「商品」「店舗」「業務」を基本から見直し、当社の『変化』の浸透を図るための施策を実施してまいりました。

当第3四半期連結累計期間には、『商品の創業』『店舗の創業』の一環として、POSデータに基づく重点商品の精査と店舗での品揃えの拡充を行ってまいりました。具体的には、新規にマリンシリーズや当社のプライベートブランドにより品質向上を図った『Do! STARS』の拡充、またハンドクラフトの独自ブランドである「toi-toi-toi marche」コーナー展開を行うなどブランドイメージのさらなる向上を図りました。また、『仕組の創業』では、本部主導の業務改革に着手し、経営環境の変化に伴う今後の企業成長に適合する体制づくりを続けております。

当第3四半期連結累計期間は、売上高につきましては、第2四半期までの消費税増税に伴う駆け込み需要および特に雑貨商品が堅調に推移したことから、悪天候の影響もある中で前年を上回り推移いたしました。

また、営業利益につきましては、コスト上昇圧力のある中で雑貨食品比率の見直しやブランディング費用一巡の効果もあり、前年を上回り推移いたしました。

当第3四半期連結累計期間における新規出店は54店舗、純増で15店舗、また既存直営店のリニューアルは大規模リニューアルが11店舗、小規模リニューアルが31店舗、合計42店舗実施いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は売上高477億50百万円（前年同期比101.9%）、営業利益14億21百万円（前年同期比113.4%）、経常利益15億46百万円（前年同期比108.4%）、四半期純利益6億5百万円（前年同期比103.6%）となりました。

売上高の構成は、直営店売上高417億42百万円（構成比率87.4%、前年同期比101.8%）、F C店売上高55億10百万円（構成比率11.5%、前年同期比101.9%）、その他売上高4億96百万円（構成比率1.1%、前年同期比107.6%）であります。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は273億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ24億65百万円増加いたしました。その主な要因といたしましては、第3四半期連結会計期間末の休日要因による「現金及び預金」が22億60百万円の増加、また「信託受益権」が1億45百万円増加したことが挙げられます。

負債合計は170億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億54百万円増加いたしました。その主な要因といたしましては、上記同様休日要因による「支払手形及び買掛金」が19億94百万円の増加、賞与引当金1億3百万円の増加、また「長期借入金」が3億14百万円減少したことが挙げられます。純資産合計は103億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億11百万円増加し、自己資本比率は37.7%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年11月期の業績予想につきましては、第3四半期における業績が概ね計画通り推移しているため、現時点では平成26年1月14日に発表いたしました予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,892,350	6,152,974
受取手形及び売掛金	486,877	436,823
商品	5,383,451	5,415,801
未収入金	2,282,936	2,196,730
信託受益権	1,949,074	2,094,874
その他	546,437	560,951
貸倒引当金	△21,042	△19,636
流動資産合計	14,520,085	16,838,519
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,511,019	3,617,109
その他(純額)	1,319,934	1,255,583
有形固定資産合計	4,830,954	4,872,692
無形固定資産		
投資その他の資産	127,950	128,793
敷金及び保証金	4,417,849	4,540,187
その他	1,086,864	1,069,201
貸倒引当金	△29,891	△30,135
投資損失引当金	△26,000	△26,000
投資その他の資産合計	5,448,822	5,553,254
固定資産合計	10,407,727	10,554,740
資産合計	24,927,812	27,393,260
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,748,522	11,742,669
1年内返済予定の長期借入金	465,216	430,800
未払法人税等	251,488	351,148
賞与引当金	—	103,055
資産除去債務	16,772	6,528
その他	1,500,748	1,702,435
流動負債合計	11,982,747	14,336,636
固定負債		
長期借入金	314,496	—
退職給付引当金	919,196	1,037,945
資産除去債務	881,596	897,889
負ののれん	514,162	485,597
その他	309,870	318,430
固定負債合計	2,939,321	2,739,863
負債合計	14,922,069	17,076,500

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,028,304	3,028,304
資本剰余金	3,065,674	3,065,674
利益剰余金	4,667,411	5,006,669
自己株式	△751,267	△728,218
株主資本合計	10,010,122	10,372,429
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,750	△3,248
為替換算調整勘定	△51,131	△52,420
その他の包括利益累計額合計	△53,882	△55,669
新株予約権	49,502	—
純資産合計	10,005,743	10,316,759
負債純資産合計	24,927,812	27,393,260

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年8月31日)
売上高	46,859,429	47,750,378
売上原価	29,650,176	30,202,369
売上総利益	17,209,253	17,548,009
販売費及び一般管理費	15,955,055	16,126,179
営業利益	1,254,197	1,421,830
営業外収益		
受取事務手数料	63,825	69,114
為替差益	33,416	1,899
負ののれん償却額	28,564	28,564
その他	56,479	32,938
営業外収益合計	182,286	132,516
営業外費用		
支払利息	6,182	3,135
雑損失	3,626	4,060
その他	485	768
営業外費用合計	10,293	7,964
経常利益	1,426,190	1,546,382
特別利益		
受取補償金	12,634	17,141
特別利益合計	12,634	17,141
特別損失		
固定資産除却損	125,076	88,833
減損損失	120,978	179,089
特別損失合計	246,054	267,922
税金等調整前四半期純利益	1,192,770	1,295,600
法人税等	608,051	690,037
少数株主損益調整前四半期純利益	584,719	605,563
四半期純利益	584,719	605,563

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	584,719	605,563
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,511	△498
為替換算調整勘定	△18,497	△1,289
その他の包括利益合計	△16,985	△1,787
四半期包括利益	567,734	603,775
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	567,734	603,775
少数株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

ストック・オプションの行使による自己株式の処分に伴い、第2四半期連結累計期間において自己株式が522,865千円減少しております。

また、平成26年7月22日開催の取締役会決議により、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき自己株式の取得を実施し、当第3四半期連結累計期間において自己株式が499,816千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における自己株式は728,218千円となっております。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間（自平成24年12月1日至平成25年8月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成25年12月1日至平成26年8月31日）

当社グループは、日用雑貨及び加工食品の小売店舗チェーン展開を主たる目的とした単一事業であるため、セグメント情報の記載を省略しております。